

学問をもう一度



土樋キャンパス
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
● JR「仙台駅」よりタクシーで10分
● 地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩5分
● バス停「福祉プラザ前」から徒歩5分

五橋キャンパス
〒984-8588 仙台市若林区清水小路3-1
● JR「仙台駅」から徒歩約15分
● 地下鉄南北線「五橋駅(東北学院大学前)」直結
● バス停「五橋駅」から徒歩約1分

駐車場はございませんので公共交通機関をご利用ください。

公開講座

TOHOKU GAKUIN UNIVERSITY
TGU OPEN COLLEGE

ミライを拓く道標
2025 Spring

東北学院大学公開講座情報 メール配信サービスを開始します。

毎年春期(4-8月:配信5月予定)と秋期(9-3月:配信8月予定)の年2回、公開講座ガイドの発刊に合わせて公開講座ガイドをメールで配信します。ご希望の方は、登録フォームで配信登録をお願いいたします。

※迷惑メール対策などでドメイン指定受信を設定されている場合、メールが届かない場合がございます。
@mail.tohoku-gakuin.ac.jpの「ドメイン指定受信」の設定と「迷惑メールボックス」の設定解除をお願いいたします。

東北学院大学
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp>

個人情報の保護について

本学の講座で皆様よりご提供いただきました個人情報は、法令に従って安全かつ適切に取り扱い、講座・催し物等の案内送付などサービスに必要な範囲で利用させていただきます。なお、個人情報についてのお問い合わせ・訂正などがありましたら、お手数ですが各実施機関までご連絡ください。

キーワードの検索・使い方について

東北学院大学ホームページの「研究・産学連携・地域連携」のタブから「公開講座」を選択します。講座検索の「探したいキーワードを選択してください」からキーワードを選択すると関連する公開講座が表示されます。

講座検索
探したい開催希望日を選択してください 探したいキーワードを選択してください

公開講座
<https://www.tohoku-gakuin.ac.jp/research/compatibility/>



東北学院大学

【問い合わせ先】東北学院大学研究支援課 E-mail:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp



東北学院大学

学問をもう一度



ミライを拓く道標

社会に出ても、様々な障害や迷い、
想定外の出来事が起こることはあります。
学問は、その先に待つ未来の困難な道に対し
ときに道標となり、ときに道具となって
自分の進むべき道を切り拓いてくれます。

もう一度学びたい。
違うことを学んでみたい。
そんな人の支えになるために
一般に開かれた学問として
公開講座を行ないます。

学長挨拶

コロナ禍が収束したと思いきや、人類は戦争による人命軽視、地震や山火事等の自然災害による被災、そして関税を万能とみなすトランプ政権による「重商主義」に見舞われており、世界や日本は大きく変わろうとしています。

そのような時に思い起こすのは、やはり世界が大きく変動した第2次世界大戦中にアメリカの神学者ラインホルド・ニーバーが唱えた「平静の祈り」です。「神よ、変えられるものを変える勇気を、変えられないものを受け入れる冷静さを、そして両者を識別する知恵を与えたまえ」。現在、一方ではChat GPTに代表される対話型生成AI(人工知能)の登場による「暴走列車」のような変化と、他方では、多くの人々が戦争と自然災害によって「突然の不幸」に見舞われることの繰り返しのうちに、私たちは生活しています。

「変えていいもの」と「変えてはならないもの」を峻別する知恵を、本年度も東北学院大学が市民の皆様提供している数多くの「公開講座」から学んでいただければ、「学都」仙台の都心にある大学として望外の喜びです。

東北学院大学 学長 大西 晴樹

EVENT CALENDAR

5月

8 木 宗教音楽研究所主催 第29回オルガン演奏法講座

23 金 国際学研究所主催 第6回講演会
国際比較から見た【日本政治の現在地】—少数与党政権とポピュリズム—

24 土 キリスト教文化研究所主催 研究フォーラム2025
キリスト教における正統と異端

5 木 法学政治学研究所主催 第29回学術講演会
法学部設置60周年記念講演 法学研究科設置50周年記念講演
性犯罪をめぐる日独の最近の動向について

7 土 研究支援課主催 学生のための公開講座2025
タイパを極める! 大学生のための生成AI講座—これからの学生生活と未来の地域はどう変えていくのか—

14 土 データサイエンス学科主催 タンキューする科学 ~探求から探究へ~
【第1回】キッチンでタンキューする

六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第1回】「伝える」ことで心をつかむ—スポーツの舞台裏を語るフォトグラファーの感動を共有する視点—

データサイエンス学科主催 タンキューする科学 ~探求から探究へ~
【第2回】色をタンキューする

21 土 六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第2回】「伝える」ことで残る食文化—せり鍋ムーブメントが生んだ地域のカー

ヨーロッパ文化総合研究所主催 公開講演会(前期)
古代ローマ法研究の可能性—遺跡・遺物からみえるもの—

28 土 六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第3回】「伝える」力で新しい扉を開く—東北の女性が描く輝く未来へ—

宗教音楽研究所主催
「リオネル・アヴォ オルガン演奏会」

データサイエンス学科主催 タンキューする科学 ~探求から探究へ~
【第3回】眼をタンキューする

六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第4回】「きっかけ食堂」が「伝える」、地域の味と未来のつなぎ方—生産者と若者が紡いだ10年の物語—

10 木 国際学研究所主催 グローカル問題講演会
軍事政権下での人道支援 : ミャンマー大地震への対応と展望

データサイエンス学科主催 タンキューする科学 ~探求から探究へ~
【第4回】直感をタンキューする

六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第5回】「伝える」酒、「つなぐ」想い—杜氏としての挑戦と革新—

18 金 レクチャーコンサート・シリーズ2025年度「時代の音」第1回公演
ロマン派の時代 ふたりの伴侶を一度に持つと…~ドイツ・リートにおける表現の多様性~

19 土 六軒丁学舎2025~新しい「学び」場~
【第6回】お菓子で「伝える」物語—シュガークラフトの魔法と地域でつながるお菓子の力

7月

1 宗教音楽研究所主催 第29回オルガン演奏法講座

申込必要／有料／五橋キャンパス／
定員15名程度(月・火・木曜グループの合計)

■日時:2025年5月8日(木) 全10回
18:00～19:30(受付開始時間 17:30)
■会場:五橋キャンパス 押川記念館ホール

本学宗教音楽研究所では、オルガン演奏技法習得を目的とする公開講座を下記の要領で開催いたします。使用楽器は五橋キャンパス押川記念ホールに設置されているアルフレッド・ケルン社(フランス・アルザス)のオルガンです。オルガンの演奏実践と鑑賞を目的とする本公開講座に、奮ってご参加ください。尚、当研究所主催の公開オルガン演奏会は6月、11月に同ホールにて開催を予定しております。

講師 小野 なおみ
(本学礼拝オルガニスト／宮城学院女子大学音楽科・パッハホール音楽院講師)
椎名 雄一郎
(本学文学部教授／大学宗教主任／宗教音楽研究所所長)
山司 恵莉子
(本学礼拝オルガニスト)
個別レッスン(各40分)※レッスンの実施については本学の授業、行事等の実施状況に準じます。受講者の方々には、日時の変更等が生じることがありますことをご了承ください。

キーワード 2025年度 2025年度春期 宗教音楽研究所
宗教音楽研究所オルガン演奏講座 五橋キャンパス



■募集人数／定員15名程度(月・火・木曜グループの合計)
■受講料／40,000円
■主催／宗教音楽研究所
■申込方法／本講座は、全10回の個人レッスンとなります。申込フォーム(Google)または申込フォーム(郵送)にてお申し込み下さい。※申込期間については下段の■その他をご参照ください。
■申込先／宗教音楽研究所
TEL:022-354-8312 Email: onken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／宗教音楽研究所
TEL:022-354-8312 Email: onken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／【申込開始日】4月10日(木)【申込締切日】今回初めて申し込まれる方につきましては、4月18日(金)正午メチ。受講経験者(継続・断続問わず)は、4月25日(金)正午メチとさせていただきます。※初めて申し込まれる方には、4月24日(木)にオーディションを受けていただきます。【初回のレクチャー】5月8日(木)18:00～19:30は椎名講師によるレクチャーです。レッスン受講者以外の方も聴講いただけます(入場無料)。

2 国際学研究所主催 第6回講演会

国際比較から見た【日本政治の現在地】—少数与党政権とポピュリズム—

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員なし

■日時:2025年5月23日(金) 全1回
16:45～18:15(受付開始時間 16:15)
■会場:土樋キャンパス6号館 631教室

昨年の衆議院選挙の結果、自民党の議席は過半数を割り込み、少数与党政権として、多数の野党と対峙するようになりました。他方で、野党の中には既存政党の外に、右派／左派の主張を強く打ち出す、いわゆる「ポピュリズム」的な政党も出現するようになりました。実はこうした少数与党政権が、既存野党に加えて新たなポピュリズム政党に対峙する構図は、今日の日本に限らず、ヨーロッパをはじめ世界各地でも確認されています。本講演では、そうした国際比較も視野に入れつつ、日本政治の現在地を読み解き、また今後との展望について考えます。

講師 中北 浩爾(中央大学法学部教授)
国際学研究所では、日本政治分析の第一人者であり、新聞・テレビなどの政治ニュース解説でも大活躍の中北 浩爾(なかきた こうじ)教授をお迎えして、国際学研究所第6回講演会を開催いたします。

キーワード 2025年度 2025年度春期 国際学研究所
国際学研究所講演会 土樋キャンパス

■募集人数／定員なし
■対象／どなたでも受講可能です。
■受講料／無料
■主催／国際学研究所
■申込方法／お申込フォーム、Eメールまたは電話にてお申し込みください。
■申込先／国際学研究所(平日:月～水 9:30～13:30)
TEL:022-354-8185 Email: iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／国際学研究所
TEL:022-354-8185 Email: iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／※メールやお電話にてお申し込みされる際は、件名を「国際学研究所第6回講演会申込希望」とし、①氏名(カナ)②連絡先をお知らせください。諸事情により変更などが生じた場合、ご登録の連絡先へご連絡申し上げます。

3 キリスト教文化研究所主催 研究フォーラム2025

キリスト教における正統と異端

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員150名

■日時:2025年5月24日(土) 全1回
14:00～16:00(受付開始時間 13:30)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館ホール

キリスト教における「異端」と「正統」とは何か。本研究フォーラムでは古代と現代におけるキリスト教の視点から、この問いについて考える。第一講演では古代キリスト教史を振り返る。2世紀から4世紀における異端論争を手掛かりに、初期キリスト教における異端概念と正統信仰の確立を考察する。第二講演では現代の問題と向き合う。信教の自由が保障されている社会において、そもそも「異端」の何が問題なのかについて考える。

講師 津田 謙治
(京都大学文学部教授)
川島 堅二
(本学総合人文学科教授)

キーワード 2025年度 2025年度春期 キリスト教文化研究所
キリスト教文化研究所研究フォーラム 土樋キャンパス



■募集人数／定員150名
■受講料／無料
■主催／キリスト教文化研究所
■対象／どなたでも受講可能です。
■申込方法／申込フォームまたはEメールにてお申し込みください。なお、定員に達した時点で申込を終了させていただきます。申込締切は、5月22日(木)17:00までとなります。
■申込先／キリスト教文化研究所
■問合せ先／研究支援課
TEL:022-264-6401 Email: k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／メールにて申込される場合は、件名を「キリスト文化研究所研究フォーラム」と記載してください。申込内容:①氏名 ②電話番号

4 法学政治学研究所主催 第29回学術講演会 法学部設置60周年記念講演 法学研究科設置50周年記念講演

性犯罪をめぐる日独の最近の動向について

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員200名

■日時:2025年6月5日(木) 全1回
15:50～17:20(受付開始時間 15:20)
■会場:土樋キャンパス 8号館5階 ホール

近時のわが国における性犯罪規定の改正の動きにはめざましいものがある。2023年には強制性交等罪が不同意性交等罪へと名称が変わり、その構成要件の内容も、被害者に対し強制を加えて性交等を行うことから、被害者の同意を得ずに性交等を行うことへと大きく変容することになったのである。本講演では、わが国における性犯罪規定が改正されるに至った社会的背景、2023年の法改正によって生じた新たな諸問題、性犯罪の被害者に対する支援として政府はどのような取り組みを行うべきか等について、わが国に多大な影響を与えたドイツ刑法の改正の動きも参考にしながら簡潔に話しをすることにする。

講師 吉川 真理
(静岡大学グローバル共創科学部教授)

キーワード 2025年度 2025年度春期 法学政治学研究所
法学政治学研究所公開講座 土樋キャンパス



■募集人数／定員200名
■受講料／無料
■主催／法学政治学研究所
■後援／東北学院大学法学部同窓会
■対象／どなたでも受講できます。
■申込方法／申込フォームまたはEメールにてお申し込みください。
■申込先／法学政治学研究所
Email: k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■問合せ先／研究支援課(法学政治学研究所担当)
TEL:022-264-6406 Email: k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他／Eメールでのお申し込みの場合、件名は「法学政治学研究所 学術講演会申込み」として以下の事項をお知らせください。①氏名(フリガナ)、②郵便番号、③住所(番号まで)、④日中、連絡のつく電話番号【申し込み先着順】申込締切切りは5月28日(水)17:00までですが、定員になり次第メチとなりますのでご了承ください。

5 研究支援課主催 学生のための公開講座2025

タイバを極める!大学生のための生成AI講座
—これからの学生生活と未来の地域はどう変えていくのか—

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員30名

■日時:2025年6月7日(土) 全1回
14:00～17:00(受付開始時間 13:00)
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 コラトリエ・リエゾン

生成AIって、大学生生活にどう活かせば良いの?スコそうなのは分かったけど、結局、何ができるの?そう思っている大学生の方は、多いのではないのでしょうか?大学生こそ、生成AIを活用しよう!うまく使えば学業や課外活動の効率を、劇的に改善できます!ITに詳しくない大学生でも、大丈夫です。すべての学生にAIの恩恵を届けて、大学生生活を充実させましょう!

講師 竹井 智宏
(株式会社MAKOTO Prime代表取締役／東北大学特任准教授(客員))
■株式会社MAKOTO Prime(旧称:株式会社MAKOTO)
2011年の東日本大震災を契機に設立され、東北地方の起業支援や中小企業支援に注力、ベンチャーキャピタル事業や地方創生事業を展開し、産学官金との連携を通じて地方企業の経営環境の向上を目指している。また現在は、AI活用支援事業やソリューションマッチング事業を手掛け、生成AIツール「カルクワークス」を全国展開。地方企業の立ち位置を変えることを目指している。
■カルクワークス
生成AIのハードルを高めているプロンプト問題を解決。AIがガイドするのでプロンプトの学習が不要となるこくを特徴として、現代のビジネスに必要なAIアプリを包括的に提供している。豊富なAIアプリ群が独自の機能を持ち、企業の業務効率化、生産性向上に貢献することを目的としている。開発元であるMAKOTO Primeはベンチャーキャピタルとして多くの企業支援に従事。成功事例として上場企業も創出。

キーワード 2025年 2025年度春期 研究支援課
学生のための公開講座 土樋キャンパス



■募集人数／定員30名
■受講料／無料
■主催／研究支援課
■申込方法／5月上旬頃より受付開始いたします。
■問合せ先／研究支援課
TEL:022-264-6362 Email: k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(件名には「学生のための公開講座の件」としてください。)

6 データサイエンス学科主催 タンキューする科学～探求から探究へ～

申込必要／無料／五橋キャンパス／
対面30名程度(オンライン／定員なし)

■日時:2025年6月14日(土)～7月12日(土) 全4回
■会場:五橋キャンパス 未来の扉センター

現在、さまざまな場面で「探究する力」が求められています。「探究」とはなんでしょうか?身の回りのことでもなにか気になることを見つけたらそれが「探究」の始まりです。「問い」を立て、多角的に調査を行うことで、まず「探求」します。そこからさらに理屈を追究することで「探究」へと進んでいきます。この過程で重要なのは、「仮説を意識した考え方(科学的思考)」であり、これによって課題の設定や情報収集がスムーズになります。本講座では、本学の教養科目「科学的思考の基礎」を担当しているさまざまな分野の研究者が、具体例をもとに探究の手法や実践について紹介します。

第1回 2025/6/14(土) 13:30～15:00(受付時間13:00)
キッチンでタンキューする
講師 土原 和子(本学データサイエンス学科准教授)
私たちにとって身近で欠かせないキッチン。ふだん何気なく使っていますが、実は不思議な科学で満ち溢れています。今回はキッチンでできることで科学してみましょう。簡単な実験を交えながらタンキューしましょう。

第2回 2025/6/21(土) 13:30～15:00(受付時間13:00)
色をタンキューする
講師 村上 弘志(本学データサイエンス学科教授)
虹が七色に見えるのはなぜでしょうか?色とはそもそも何か、身の回りのものの色が違って見えるのはなぜなのか。色についての疑問を通して光の性質をタンキューしましょう。

第3回 2025/7/5(土) 13:30～15:00(受付時間13:00)
眼をタンキューする
講師 牧野 悌也(本学データサイエンス学科教授)
錯視とは何か、私たちは錯視図形に何を見ているのか?パワーポイントを使って錯視図形を作成し実験することで、私たちの眼をタンキューしましょう。

第4回 2025/7/12(土) 13:30～15:00(受付時間13:00)
直感をタンキューする
講師 菅原 研(本学データサイエンス学科教授)
「100gの鉄より100gの羽毛のほうが軽そう」のように、感覚と事実に食い違いを感じるものが存在します。いろいろな事例を通してそのような食い違いについてタンキューします。

キーワード 2025年度 2025年度春期 五橋キャンパス
データサイエンス学科 データサイエンス学科公開講座



■募集人数／会場30名程度(オンライン定員なし)
■受講料／無料
■主催／データサイエンス学科
■対象／目安として高校生以上程度を対象とした内容ですが小中学生も歓迎します。
■申込方法／上記のGoogleフォーム(QRコード)からお申し込みください。オンライン希望の方にはGoogle MeetIDをお送りいたします。
■申し込み期限／各回開催前日の16:00。
■問合せ先／データサイエンス学科 データサイエンス機材室
TEL:022-354-8170 Email: ds@ml.tohoku-gakuin.ac.jp

7 六軒丁学舎(ろっけんちょうがくしゃ) 2025～新しい「学び」場～

申込必要／無料／土樋キャンパス／定員30名

■日時:2025年6月14日(土)～7月19日(土) 全6回
■会場:土樋キャンパス ホーイ記念館 コラトリエ・リエゾン

第1回 2025/6/14(土) 10:00～12:00(受付開始時間 9:30)
「伝える」ことで心をつかむ
—スポーツの舞台裏を語るフォトグラファーの感動を共有する視点—
講師 松橋 隆樹(カメラマン／ベガルタ仙台オフィシャルカメラマン)
杜の都・仙台は自然と都市が調和した東北唯一の政令指定都市で、芸術とスポーツが盛んです。プロ野球、サッカー、バスケットボールのチームが4つあり、アマチュアスポーツでも日本一に輝く選手がいます。私たちはなぜスポーツを観るのか、何を求めているのか。昨年プレーオフで惜しくも敗れたベガルタ仙台がJ1昇格を目指す姿や、2022年夏の甲子園で初の日本一に輝いた仙台育英との共通点を感じながら、最前線を一瞬を捉えるフォトグラファーの視点から、これらの体験や思いをお話します。

■ベガルタ仙台
宮城県仙台市を本拠地とするプロサッカーチームで、Jリーグに所属している。1999年に設立され、地域に根ざしたクラブとして知られている。チーム名の「ベガルタ」は、仙台のシンボルである七夕の星「ベガ」に由来し、地域の人々に愛されている。昨年、クラブハウスを東北学院大学泉キャンパスに移転し、より一層地域との結びつきを強化している。サポーターとの絆や伝統を大切にしながら、J1昇格を目指して戦い、地域活性化にも貢献している。

■仙台育英学園高等学校野球部
1950年に設立され、東北地方を代表する強豪校として知られている。2022年夏の甲子園では見事に優勝を果たし、東北勢として初の栄冠に輝いた。この大会では須江航監督の巧みな戦術と選手たちの結束力が際立ち、数々の強豪校を打ち破った。決勝戦では、緊迫した展開の中、冷静にプレーし続け、最後まで勝利を信じて戦った姿が印象的であった。また選手たちの努力や苦勞も多く特にエースピッチャーの活躍はチームを支える重要な要素となった。この偉業は地域の人々に大きな感動を与え仙台育英高校の名を全国に広めた。

2025/6/21(土) 14:00～16:40 (受付開始時間 13:30)
「伝える」ことで残る食文化 ―セリ鍋ムーブメントが生んだ地域のカー

講師 三浦 隆弘(三浦農園代表(農家))

本講座では、「セリ鍋」ムーブメントの舞台裏と、食文化がどのように醸成されてきたかを伝える。農産物価格の上昇や生産者減少といった課題を背景に、地域の伝統野菜の活用や継承について考察する。お正月行事の衰退を転機とし、野菜ソムリエやスローフードの支援、震災復興、口コミやSNSの力を通じて「セリ鍋」が仙台の食文化として根付いた過程を紹介する。さらに、土着性・季節性・独自性をキーワードに、食と地域のつながりが特徴で、さっぱりとした味わいが魅力です。一方、「蔵の庄」は、伝統的なスタイルのセリ鍋を提供し、素材の味を引き立てることに重点を置いています。これらのお店は、観光客にも人気で、仙台の食の魅力を広めています。

■セリ鍋
地元の新鮮な仙台セリを使った料理として近年ブームを迎えています。特に冬に人気が高まり、地産地消の観点からも注目されています。このブームの契機となったのは名取のセリ農家三浦氏が関わっており、彼の新鮮なセリが仙台市内の飲食店「いな穂」と「蔵の庄」で使用されたことによる。「いな穂」では、セリをしゃぶしゃぶスタイルで楽しむ「セリしゃぶ」が特徴で、さっぱりとした味わいが魅力です。一方、「蔵の庄」は、伝統的なスタイルのセリ鍋を提供し、素材の味を引き立てることに重点を置いています。これらのお店は、観光客にも人気で、仙台の食の魅力を広めています。

■スローフード
食文化や地域の特産物を大切に、持続可能な農業や地産地消を推進する運動である。1986年にイタリアで始まり、日本でも広がりを見せている。特に仙台では、地域の新鮮な食材を活用したイベントや、地元の飲食店での取り組みが進展している。「スローフード仙台」などの団体が設立され、地域の伝統的な料理や食材を守る活動が行われている。今後は、観光客を対象にした食文化の発信や、さらなる地産地消の促進が期待される。地域経済の活性化や環境保護にも寄与し、食を通じたコミュニティのつながりが深まることが重要である。

2025/6/28(土) 14:00～17:00 (受付開始時間 13:30)
「伝える」力で新しい扉を開く ―東北の女性が描く輝く未来へー

講師 丹野 拓子(メイク(BIJUKU)講師/マインドコーチ)

昨今、女性活躍が社会的に注目され、女性が活躍する時代ですが、一步を踏み出せずにいる方、自分の意見をつまく伝えられない方が少なくありません。自分の思いをどう表現すればよいのか?と悩むことはありませんか?本講座では、自己表現の方法や自己肯定感を高める具体的なステップを学びます。自信を持って自分の意思を表現し、社会で輝くためのスキルを身につけるチャンスです。あなたの魅力を引き出し、自分らしい生き方を実現するためのヒントを一緒に考えてみましょう。新たな一步を踏み出す勇気を手に入れるためにぜひご参加ください。

■BIJUKU(美整)

誰でも簡単に美しくなれるをコンセプトにしたメソッドを提供するメイク教室。仙台では2009年に丹野氏が開講し、これまでに3万人以上の女性が参加している。受講者からは「自分の顔が好きになった」「人生が変わった」との感謝の声が多く寄せられている。初心者でも安心して学べるカリキュラムを通じて、自己肯定感を高め、自分らしく輝くための自己表現の表出をサポートしている。

■Mrs of the year(ミセスオブザイヤー)

「自分にリミットをつくらずチャレンジをし続ける愛と感謝に溢れた『カッコイイ女性』」を称える祭典である。テーマは【行動の美】であり、参加者はそれぞれの人生STORYを持つ女性たちである。大会は地区大会、日本大会、世界大会の3段階で構成され、審査基準が異なる。地区大会では、主に地域での活動や社会貢献、個々の魅力が評価される。日本大会では、全国規模での影響力や発信力、ステージでの表現力が求められる。世界大会では、国際的な視点でのリーダーシップや文化的理解、世界基準の美しさと品格が審査される。

2025/7/5(土) 14:00～17:00 (受付開始時間 13:30)
「きっかけ食堂」が「伝える」、地域の味と未来のつなぎ方 ―生産者と若者が紡いだ10年の物語―

講師 原田 奈実(特定非営利活動法人きっかけ食堂代表理事)

東日本大震災から14年。復興支援から始まった「きっかけ食堂」は、世代を超えて東北の食と人の魅力を発信し続けてきました。生産者の想いを繋ぎ、地域を盛り上げるイベントを開催。近年は東北地域以外にも、能登や過疎地域問題などにも取り組み、持続可能な地域づくりへの貢献を目指しています。これからの地域づくりには何が必要なのか?次世代へ何を繋ぐべきか?参加者と共に未来を語り合うワークショップを開催!「きっかけ食堂」が大切にしていること、未来への展望を共有し「持続可能な地域づくりには何が必要なのか?」を共に考えましょ!

■きっかけ食堂

2014年5月に立命館大学の学生3人によって設立されました。東北の食材を使った料理やお酒を提供し、その味を通じて毎月11日だけでも東北や震災について考える「きっかけ」を作りたいと考えました。現在、東京や京都、仙台など全国各地で毎月11日に「きっかけ食堂」を開催し、生産者から直接仕入れた東北の食材を用いた料理や地酒を提供しています。また、参加者同士が交流し、東北や震災について話し合う場を設けています。さらに、法人や自治体と連携し、地域に関わる人々の新しい関係性をデザインする取り組みもを行っている。2017年に「新しい東北」復興・創生顕彰を受賞。

■「新しい東北」復興・創生顕彰

東日本大震災からの復興や地域創生に貢献する優れた取り組みを表彰する制度である。復興庁が主催し地域課題の解決や新たな価値創造に寄与する個人や団体を対象とする。2023年度には岩手県の「北三陸ファクトリー」や「夢団」、宮城県の「SEAWALL CLUB」、福島県の「葛力創造舎」など10団体が受賞した。受賞者は全国に紹介され、さらなる活動推進が期待される。

2025/7/12(土) 14:00～17:00 (受付開始時間 13:30)
「伝える」酒、“つなぐ”想い ―杜氏としての挑戦と革新―

講師 川名 由倫(川敬商店(黄金澤)蔵元兼杜氏)

家業を嫌い、日本酒を口にしなかった酒蔵の一人娘が、酒造りの世界に飛び込み杜氏となるまでを振り返りながら、「私らしい日本酒」についてお話しします。日本酒業界はこの30年で消費量が3割まで落ち込み、酒蔵の数も7割以下に減少。伝統的造りがユネスコ世界遺産に登録されたものの、依然として超斜陽産業です。そんな中、「伝統は攻めてこそ守られる」を信条に、時にタブーを顧みず挑戦してきた私が大切にしてきたと、これからの展望をお伝えします。グループワークでは、皆さんが飲んでみたい日本酒を、コンセプト・味わい・デザインまで総合的にプロデュースしていただきます。

■川敬商店

宮城県遠田郡美里町にある老舗酒蔵で、創業以来、地元の米と水にこだわった酒造りを続けている。代表銘柄「黄金澤(こがねさわ)」は、繊細で上品な味わいが特徴で、食事とともに楽しめる日本酒として高く評価されている。伝統を重んじながらも、新しい技術や挑戦を取り入れ、「伝統は攻めてこそ守られる」という姿勢で酒造りを行う。特に「黄金澤」は、芳醇な香りとスムーズな口当たりが魅力で、日本酒好きから初心者まで幅広く楽しめる銘柄として親しまれている。

■DATÉ SEVEN(ダテ セブン) 宮城県内の7つの酒蔵が協力し、日本酒の可能性を追求するプロジェクトとして2015年に始動した。宮城の日本酒を全国へ発信することを目的に、各蔵が持つ技術を結集し、毎年持ち回りでリーダー蔵を決定しながら酒造りを行う。原料選びから醸造に至るまで、各蔵の強みを活かした共同作業が特徴。革新的な挑戦を続けながらも、宮城の伝統を大切にし、高品質な日本酒を生み出している。限定販売のため、入手困難な人気銘柄となっている。

■日本酒

米・水・麴を主原料とする日本の伝統的な醸造酒で、吟醸酒や純米酒など多様な種類がある。国内出荷量は1973年の約177万キロリットルをピークに減少し、2020年度には約41万キロリットルと4分の1以下に縮小。一方、輸出は成長を続け、2021年の輸出額は約3億200万米ドルで前年比66.4%増加。国内市場縮小に伴い酒蔵数は減少しているが、高品質な日本酒への関心が高まり、海外市場が新たな成長の場となっている。伝統を守りつつ革新を取り入れる動きが進んでいる。

2025/7/19(土) 14:30～17:00 (受付開始時間 14:00)

お菓子で「伝える」物語

―シュガークラフトの魔法と地域でつながるお菓子の力

講師 渡邊 靖水(とびばいさ甘蔗工場長/宮城県洋菓子協会会長)

1968年に開店した甘蔗洋菓子店。母の手帳に記された創業の記録を通して、両親や親戚の生き方に魅力と不思議さを感じ、自らも菓子の世界で生きていくことを決意しました。本講座では、「とびばいさ」の意味、シュガークラフトを学ぶきっかけ、講師としての歩み、そして変貌を続ける定禅寺通りでの高いのありがたみについて語ります。地域活動を通じた人とのつながりや、甘蔗洋菓子店の三女としての視点から、菓子作りと街との関わりについてお話しします。

■有限会社とびばいさ甘蔗

1968年創業の仙台市青葉区立町にある老舗洋菓子店。創業以来、地元の素材を活かし、丁寧な手作りによる菓子作りを続けています。看板商品であるシュークリームやエクレアは、薄皮にたっぷりのクリームが詰まっており、上品な甘さと滑らかな口当たりが特徴。素材で優しい味わいのチーズケーキも多くの人々に愛されている。時代の変化に合わせ、新しい菓子作りにも挑戦し続ける姿勢が魅力で、地域とのつながりを大切にしながら、伝統を守りつつ進化を遂げる洋菓子店として親しまれている。

■シュガークラフト

砂糖を主成分としたペーストを使い、ケーキや装飾菓子を美しく仕上げる技術である。イギリスをはじめとする欧米で発展し、ウェディングケーキや記念日用のケーキに用いられることが多い。繊細な花やリボン、レース模様などを作ることができ、芸術性が高いのが特徴。シュガーペーストを型抜きや手作業で成形し、乾燥させることで立体的な装飾を作り上げる。近年、日本でも専門的に学ぶ人が増えている。

■定禅寺リビングストリートプロジェクト

仙台市の定禅寺通・立町エリアで、歩道空間を活用し地域の魅力を高める取り組みである。2019年に地元の有志が立ち上げ、歩道にテーブルやベンチを設置し、誰もが自由に利用できる憩いの場を提供している。季節ごとのマルシェやワークショップなど、多彩なイベントを開催し、地域住民や訪問者が交流し、街の魅力を再発見する機会を創出している。このプロジェクトは、都市空間の新しい活用方法を提案し、地域コミュニティの活性化に寄与している。

キーワード **2025年度** **2025年度春期** **研究支援課**
六軒丁学舎 **土樋キャンパス**



■募集人数/30名
■受講料/無料
■主催/研究支援課
■申込方法/申込フォームにてお申し込みください。なお、定員に達した時点で申込を終了させていただきます。詳細や各講座についてはHPをご確認ください。
■問合せ先/研究支援課
TEL:022-264-6362
Email:k-soken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp(件名には「六軒丁学舎の件」としてください。)

8 ヨーロッパ文化総合研究所主催 公開講演会(前期)

古代ローマ法研究の可能性―遺跡・遺物からみえるもの―

申込不要/無料/土樋キャンパス/定員なし

■日時:2025年6月21日(土) 全1回
15:00～16:30(受付開始時間 14:30)
■会場:土樋キャンパス 8号館5階ホール

フォロ・ロマーノ、コロッセオ、ポンペイ遺跡・・・古代ローマと言えばそうした場所を思い浮かべていただけるかと思いますが、ですが、ローマ「法」?はあまり聞き覚えがないのではないのでしょうか。実は、古代ローマ時代に人々の営みの中から生み出された「ローマ法」は、その後、中世以降のヨーロッパに受け継がれ、近代フランスやドイツ等の法典を通じて、私たちの法律の基礎ともなっています。「法律」というと、抽象的で難解と敬遠されるかもしれませんが、この講座では現代に残る古代遺跡や、碑文、銅板、パピルス、金属板、モザイク画といった遺物から、当時の人々の生活と法の実態に迫り、具体的なイメージをお伝えしたいと考えています。

講師 宮坂 渉(筑波大学人文社会系准教授)

キーワード **2025年度** **2025年度春期** **土樋キャンパス**

ヨーロッパ文化総合研究所 **ヨーロッパ文化総合研究所公開講演会**



■募集人数/定員なし
■対象/どなたでもご受講可能です。
■問合せ先/ヨーロッパ文化総合研究所
TEL:022-264-6379 Email:europe@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

9 宗教音楽研究所主催 「リオネル・アヴォ オルガン演奏会」

申込不要/無料/五橋キャンパス/定員なし

■日時:2025年6月28日(土) 全1回
16:00～17:45(受付開始時間 15:30)
■会場:五橋キャンパス 押川記念館押川記念ホール

フランスよりリオネル・アヴォ氏をお招きし、18世紀から現代までのフランス・オルガン音楽の伝統をたどる演奏会です。押川記念館ホール設置のケルン・オルガンは、フランスのストラズプールで制作された楽器です。この楽器の魅力を最大限に引き出す演奏会となるでしょう。

オルガン独奏:リオネル・アヴォ

曲目:L.マルジャン《グラン・ディローグ》

J.アラン《フリギア旋法によるバラード》

L.-N.クレランポー《第2旋法による組曲》

P.コシュロー《ヴィエルヌ追悼の子守歌》

L.ヴィエルヌ《オルガン交響曲第1番》より(前奏曲)

C.フランク《カンタービレ》、《英雄的小品》 ほか

講師 リオネル・アヴォ(オルガニスト)

キーワード **2025年度** **2025年度春期** **宗教音楽研究所**

宗教音楽研究所主催オルガンリサイタル **五橋キャンパス**



■募集人数/定員なし
■受講料/無料
■主催/宗教音楽研究所
■問合せ先/宗教音楽研究所
TEL:022-354-8312 Email:onken@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他/やむを得ない事情により開催を中止とさせていただきます場合がございます。最新情報に関しましては、本学公式HPにてご確認ください。未就学児のご入場はご遠慮ください。

10 国際学研究所主催 グローバル問題講演会

軍事政権下での人道支援 :ミャンマー大地震への対応と展望

申込必要/無料/五橋キャンパス/定員なし

■日時:2025年7月10日(木) 全1回
15:00～16:30(受付開始時間 14:30)
■会場:五橋キャンパス 講義棟5階L506教室(予定)

ミャンマーの人道危機は、長年の軍事独裁と内戦に加え、大地震により一層深刻化している。軍政による支援制限や治安の悪化により被災地への支援は極めて困難。大規模な支援事業は組織できず、避難民が急増している。根本的な政治解決と支援体制の再構築が求められている。

講師 今村 真央(山形大学人文社会科学部教授)

国際学研究所では、世界規模の(グローバル)諸問題が各地域(ローカル)の問題とどのように繋がっているのかを探求すべく、随時「グローバル問題」研究会・講演会を開催して参ります。初回はミャンマー・タイの地域社会と国際関係に詳しい今村 真央(いまむら まさお)教授をお招きして、先般のミャンマー大地震とその余波についてお話を伺います。

キーワード **2025年度** **2025年度春期** **国際学研究所**

国際学研究所講演会 **五橋キャンパス**



■募集人数/定員なし
■対象/どなたでもご受講可能です。
■申込方法/お申込フォーム、Eメールまたは電話にてお申し込みください。
■申込先/国際学研究所(平日:月～木 9:30～13:30)
TEL:022-354-8185 Email:iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■共催/国際学部
■問合せ先/国際学研究所
TEL:022-354-8185 Email:iisc@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他/※メールやお電話にてお申し込みされる際は、件名を「国際学研究所グローバル問題講演会申込希望」とし、①氏名(カナ)②連絡先 をお知らせください。諸事情により変更などが生じた場合、ご登録の連絡先へご連絡差し上げます。

11 レクチャーコンサート・シリーズ 2025年度「時代の音」第1回公演

ロマン派の時代

ふたりの伴侶を一度に持つと…～ドイツ・リートにおける表現の多様性～

申込必要/有料/五橋キャンパス/定員500名

■日時:2025年7月18日(金)
18:30～20:30(受付開始時間 18:00)
■会場:五橋キャンパス 押川記念館ホール

「時代の音」レクチャーコンサート・シリーズは、一般的なコンサートとは異なり、演奏を聴くのみならず、その音楽に込められた想いや音楽が奏でられた時代背景等、音楽に関する知識を講義する公開講座です。2025年度は声楽家(テノール)・合唱指揮者の大島博氏を講師としてお迎えし、解説を交えながら、ひとつのドイツ詩に付けられたふたつの歌曲を並べて演奏します。ドイツ・リートにおける詩と音楽の関係はしばしば結婚にたとえられます。両曲の比較から、作曲家の個性や解釈の違い、時代の流れによるリートの変遷について考えます。曲目は「魔王」「ガニユメデス」「はすの花」「五月の歌」「旅人の夜の歌」などを予定しています。

講師 大島 博(声楽家(テノール)・合唱指揮者)
浅井 道子(ピアノ)

キーワード **2025年度** **2025年度春期** **五橋キャンパス**

学長室政策支援IR課 **時代の音**

■募集人数/500名
■対象/一般・学生(学生券1,500円。未就学児の入場はできません。)
■受講料/3,000円
■主催/東北学院大学・河北新報社
■問合せ先/学長室政策支援IR課
TEL:022-264-6424 FAX:022-264-6364 Email:tgppo@mail.tohoku-gakuin.ac.jp
■その他/※やむを得ない事情により公演日時、会場出演者および受講料等は変更となる場合がございます。※第2回公演は2025年10月18日(土)開催予定です。